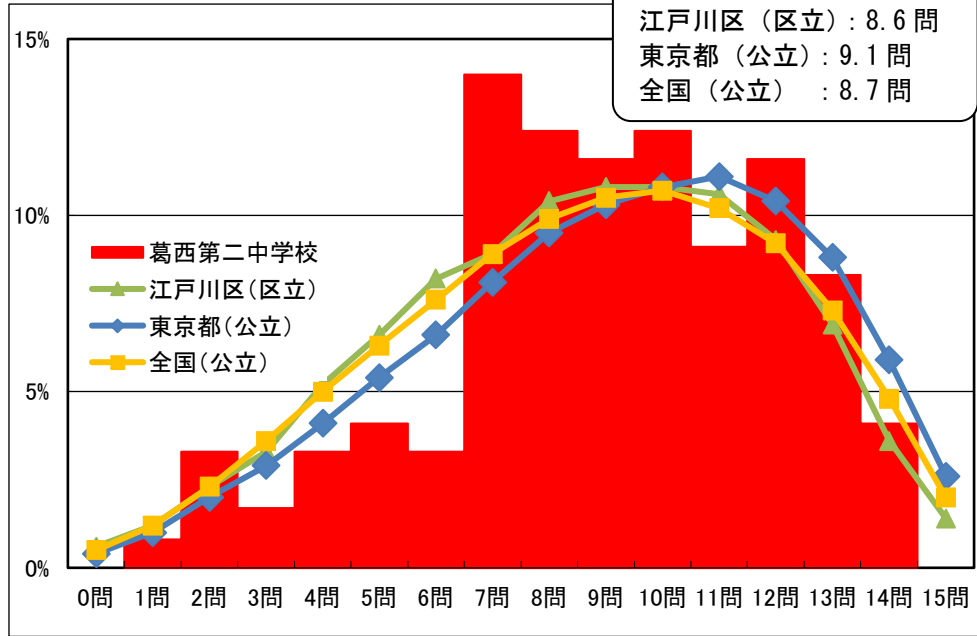


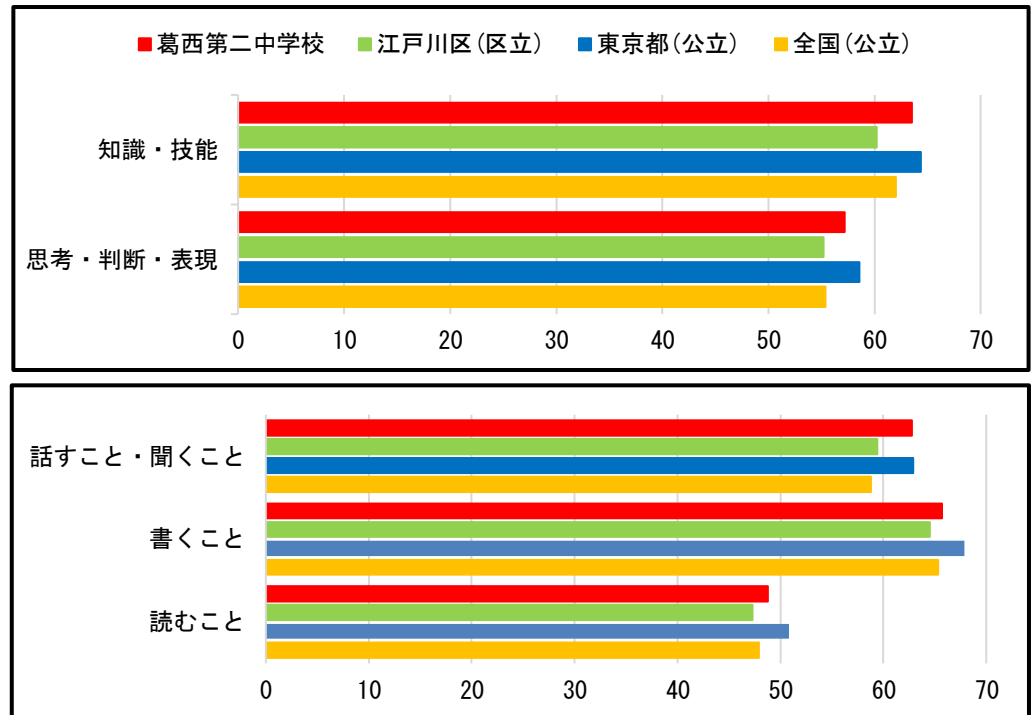
# 令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 葛西第二中学校

## 正答数分布

平均正答数  
 葛西第二中学校：9.0問  
 江戸川区（区立）：8.6問  
 東京都（公立）：9.1問  
 全国（公立）：8.7問



## 「領域別」の結果



## <四分位における割合(都全体の四分位による)>

国語	上位 ← 下位			
	A層 12～15問	B層 9～11問	C層 7～8問	D層 0～6問
葛西第二中学校	24.0	33.1	26.4	16.5
江戸川区（区立）	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都（公立）	27.7	32.2	17.6	22.5
全国（公立）	23.3	31.4	18.8	26.5

【平均正答率の差】	
葛西第二中学校	60%
江戸川区（区立）	57%
東京都（公立）	61%
全国（公立）	58.1%
都との差	-1ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

都や全国と比べてC層の生徒の割合が多い。「文章と図、情報と情報を結び付けて内容を解釈すること」の正答率が都、全国と比べて10%程低い。

C層の生徒をB層に引き上げるため、授業内で図やグラフを用いた文章を積極的に用いて、正確に読み取る力を高めていきたい。また、「書くこと」の正答率を伸ばすため、論述の時間を確保し、授業改善に取り組む。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。